

「ぼ～れぼ～れ」通巻 411 号所載

2 人のドクターに支えられるつどい

三郷の小さなつどい 8/23(土) 13:30～

東和東地区文化センター 参加者25名

クリニックふれあい早稲田の大場先生に加えて、みさと健和団地診療所の宮本洋二先生も参加して下さることになり、とても心強くなりました。

Aさんから、誰か入ってくるという妄想があって、それを否定してはいけないだろうかという相談がありました。宮本先生から、本人は見えるので、それを真っ向から否定されると混乱するから、まず聞いて上げた方が良くと話され、Mさんからは「そうなの？」と聞き返すのがいいのではと提案がありました。それでも何回も繰り返されると、つい否定してしまうという本音も何人かから出されました。

Tさんは、若年性認知症の妻を見ていて、「本当に治らないのか」と、切実な質問があり、大場先生から、今の医療では、特効薬はないので、早期に診断することと、ケアによって、進行を遅らせることが考えられていると話されました。Sさんも若年性認知症の妻を見ていて、同じ悩みを持つ人のつどいを開いているので、参加されてはと呼びかけられました。